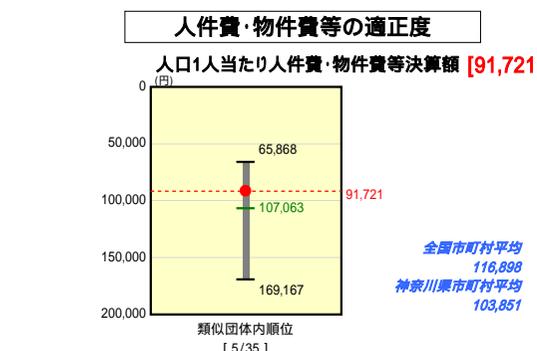
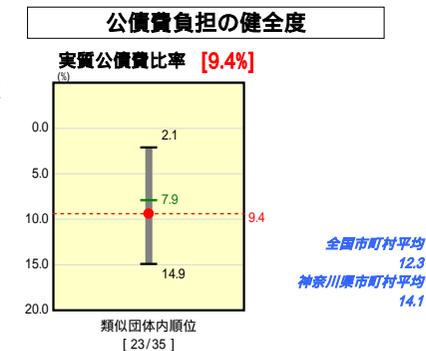
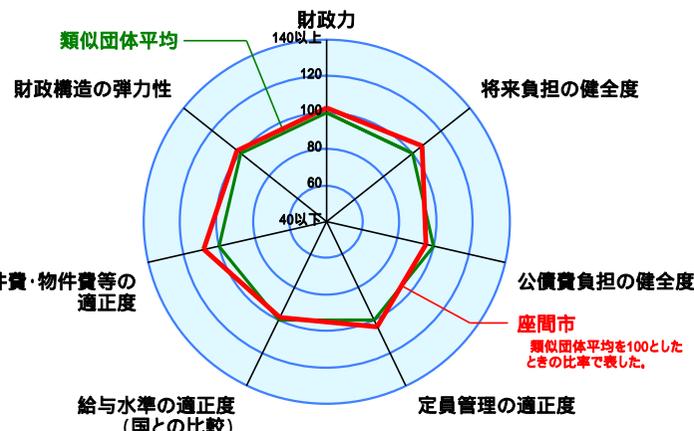
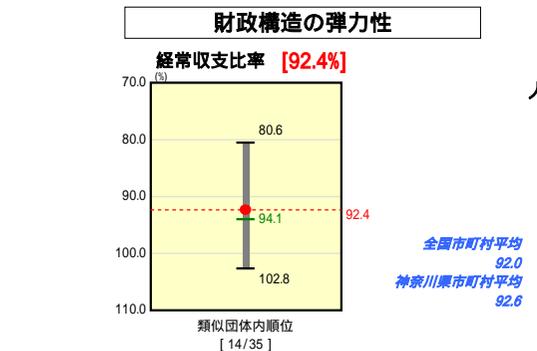
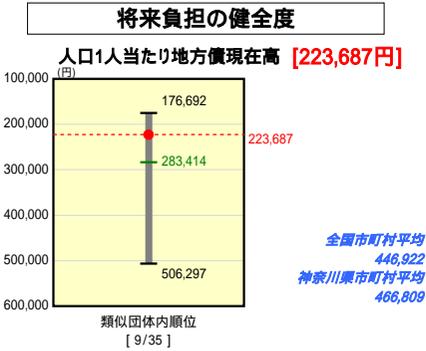
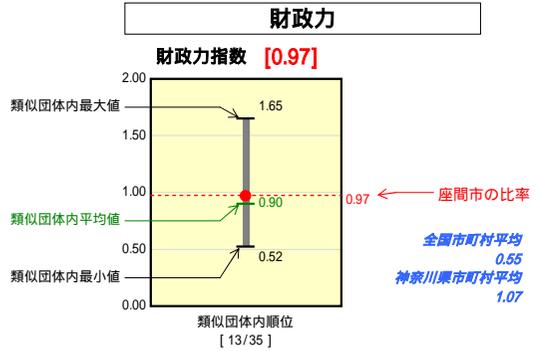


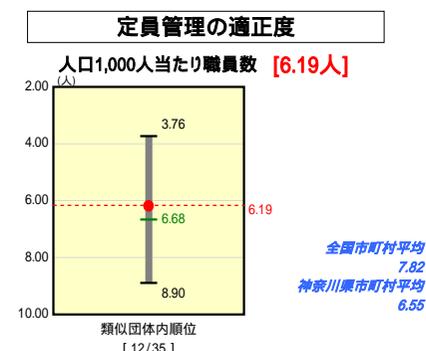
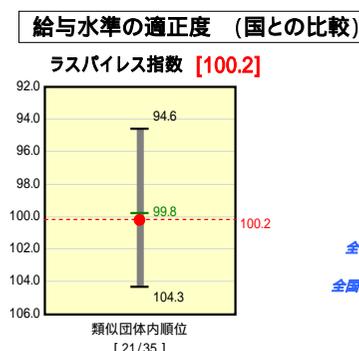
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

神奈川県 座間市

人口	126,053	人(H20.3.31現在)
面積	17.58	km ²
歳入総額	30,856,718	千円
歳出総額	30,093,501	千円
実質収支	724,717	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレース指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年度地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】 前年度を0.04ポイント上回り、類似団体平均を0.07ポイント上回っている。これは個人市民税の納税義務者が増加したことや税源移譲に伴う所得割税率のフラット化、定率減税等の廃止等の税制改正に伴う増収が主な要因である。これまで本市では、平成11年度に市税等収納対策特別委員会を設置し、市税等収入確保に努めるとともに、第三次行政改革大綱実行計画(平成13年～平成17年度)に基づき徹底した事務事業の見直しを行ってきた。今後は第四次行政改革大綱実行計画(平成18年度～平成22年度)に基づき、経費削減に一層努める。

【経常収支比率】 歳出比較分析表を参照。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 全国、類似団体及び県下市町村の各平均いずれもを下回っている。主な要因は、職員数の減少や地域手当の段階的見直し、緊急性や必要性の高い事業等の峻別によるものである。今後は、民間でも実施可能な部分は、指定管理者制度の活用等により委託化を進め、コストの低減に一層努める。

【人口1人当たり地方債現在高】 一層の起債の抑制を図る中で、起債に大きく頼ることのない健全な財政運営に努めた結果、前年度を7,788円下回り、類似団体、全国平均及び県下市町村平均より低い数値となっている。

また、核づくりのピークであった平成8年度の318,750円に対し、平成19年度には223,687円と95,063円(29.8%)減少した。今後、起債の抑制とともに一層の債務解消に努める。

【実質公債費比率】 類似団体平均を1.5ポイント上回っているものの、県下市町村及び全国平均はそれぞれ下回っている。平成3年度から平成7年度までの起債全体の約42%に当たる「市の核づくり」(庁舎、文化会館、健康センター等)に伴う市債残高の解消に努めており、核づくり後は一層の起債の抑制を図る中で、起債に大きく頼ることのない健全な財政運営に努めている。また、今後においても一層の財政健全化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】 類似団体、全国平均及び県下市町村平均より低い値となっている。今後は事務事業の見直し、組織の合理化等により定員管理の適正化に努める。

【ラスパイレース指数】 類似団体平均を0.4ポイント、全国平均を7.0ポイント上回っている。その要因は、国との給与体系の相違にあるので、給与構造改革等を実施することにより、より一層人件費の縮減に努める。